

【MC-20取扱説明書】

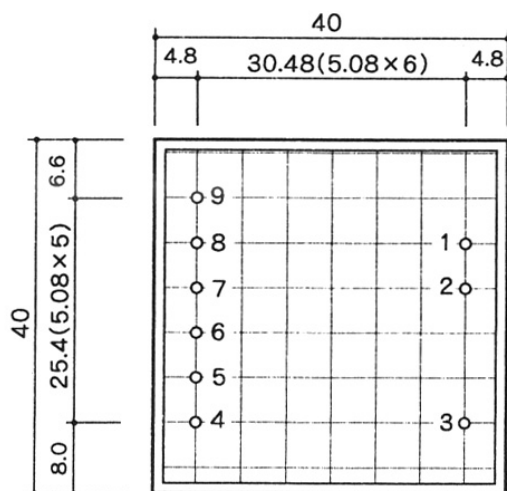
〈概要ならびに使用法〉

ヘッドアンプにもDCサーボ技術を取込み、出力カップリングコンデンサーレスを可能にしました。
音質劣化を最少に抑えられます。
昇圧トランスでは得られない分解能と音の鮮度が特長です。

- ◎L、Rのゲイン差を補正するには、ゲインの大きいchの出力に適当なRを付加します。
(例えば対アースに15kを入れると、約0.5dBレベルが下がります)
- ◎入力Rは出来るだけ良品で、大きな定数をお使い下さい。
カートリッジの負荷が軽いほど情報量が豊かになります。
(ちなみに弊社オーディオボードHAB-1では、入力R=47kとしています)
- ◎周辺回路その他は、HAB-1ボードの取扱い説明書を参考にして下さい。

〈仕様〉

- 入力抵抗値 ほぼ無限大
- 利得 +24±0.3dB
- 周波数帯域幅 2Hz～1MHz(以上)
- 最大出力電圧 1.2Vrms
- 入力換算雑音電圧 -150dBV(A)以下 (RIAAイコライザーを通して)
- 出力抵抗値 約750Ω
- 電源 ±15V/23mA(±1V)
- 外形寸法/質量 40×40×18/45g
- 使用温度範囲 0～+50℃



〔 MC-20 〕
〔 ピンレイアウト図 〕

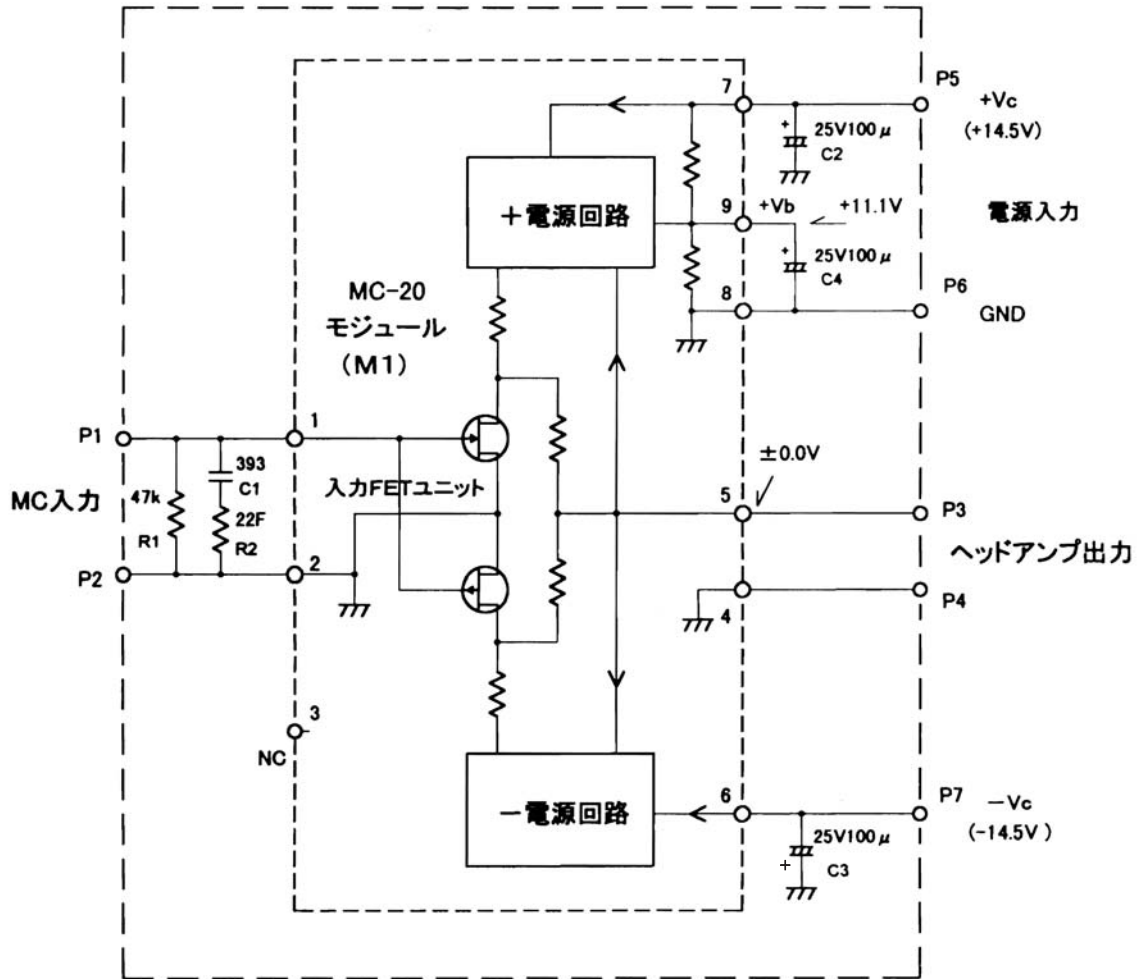
- ① MC入力
- ② 入力GND
- ③ NC(無接続)
- ④ 出力GND
- ⑤ アンプ出力
- ⑥ -Vc
- ⑦ +Vc
- ⑧ 電源GND
- ⑨ DCサーボ基準電圧

ボトムビュー

ケース高さ=18mm

ピン径=0.8φ

MC-20基本結線図 (HAB-1ボードの例)



注: ●各ch共、同一部品&ピン番号
 ●ch間ジャンパ---
 +Vc...J1 G...J2 -Vc...J3

(HAB-1ボード
 回路図(片ch))